

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成26年8月11日
【四半期会計期間】	第63期第1四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）
【会社名】	寿スピリッツ株式会社
【英訳名】	Kotobuki Spirits Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 河越 誠剛
【本店の所在の場所】	鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
【電話番号】	0859(22)7477(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画部部长 松本 真司
【最寄りの連絡場所】	鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
【電話番号】	0859(22)7477(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画部部长 松本 真司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第1四半期連結 累計期間	第63期 第1四半期連結 累計期間	第62期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成26年4月1日 至平成26年6月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (千円)	5,185,146	5,000,635	22,946,745
経常利益 (千円)	266,416	205,994	2,361,986
四半期(当期)純利益 (千円)	133,759	111,261	1,278,158
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	128,283	119,336	1,270,591
純資産額 (千円)	6,907,037	7,753,527	8,049,250
総資産額 (千円)	13,651,020	13,816,747	14,557,593
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	12.89	10.73	123.21
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	50.6	56.1	55.3

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における事業環境は、消費税増税に伴う物価の上昇、ガソリン価格の高騰などによる消費マインドの低下に加え、原材料価格の高騰や企業間競争の激化などにより、厳しい状況で推移いたしております。

このような状況のもと、当社グループは、既存ブランドの育成、主力商品の強化はもとより、持続的な成長に向け、『ニューコンセプトメーカー』をスローガンに、新商品・新店舗・新ブランド創り、新ビジネス、海外展開を強化ポイントに掲げ、新たな領域創造に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、5,000百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は201百万円（前年同期比23.4%減）、経常利益は205百万円（前年同期比22.7%減）、四半期純利益は111百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「ジャパルシー」について量的な重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しており、以下の記載における前第1四半期連結累計期間との比較は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき組み替えた数値を使用しております。

ケイシイシイ

「ルタオ」ブランドを擁するケイシイシイは、催事の強化、主力商品の販売促進により、外商部門の売上高が伸長した一方、通販部門では、消費税増税の影響により受注減少が見込まれたため、費用対効果を考慮し、販促活動を抑制したことにより売上高は減少いたしました。なお、昨年7月、東京・表参道に立上げましたアントルメグ ラッセ専門店「GLACIEL（グラッシェル）」は、認知度の向上に向け、通販・催事展開など販売チャンネルの拡大に努めました。

その結果、売上高は、1,766百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は110百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

寿製菓

寿製菓は、代理店及びグループ会社と連携を強化し、焼き菓子系商品を中心に新商品開発に注力した一方、昨年3月に全線開通した鳥取、松江両自動車道の開通効果の反動減及び出雲大社の遷宮効果の一巡などにより、山陰地区が低調に推移した結果、売上高は1,751百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益は104百万円（前年同期比31.6%減）となりました。

販売子会社

販売子会社は、地域・チャンネル特性にマッチした新商品開発の推進に注力し、東海地区では主力商品「小倉トーストラングドシャ」及び「伊勢奉祝えびせんべい」の販売強化、関西地区では新商品「九条ねぎ京えびせんべい処」及び「神戸三宮フレンチトーストラングドシャ」の拡販などに取り組みました。その結果、売上高は1,029百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は29百万円（前年同期比23.0%減）となりました。

九十九島グループ

九十九島グループは、大手テーマパーク向け売上が落ち込んだ一方、昨年6月、福岡・大名に立ち上げましたフレンチトースト専門店「Ivorish（アイボリッシュ）」の2号店を本年4月に東京・渋谷にオープンするなど新業態店の認知度拡大に取り組みました。その結果、売上高は734百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は0百万円（前年同期比92.9%減）となりました。

但馬寿

但馬寿は、グループ向け新商品開発に注力した一方、既存商品の低迷などにより売上高は234百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は7百万円（前年同期比32.7%減）となりました。

シュクレイ

首都圏での多ブランド展開に注力しておりますシュクレイは、各ブランドの知名度向上に向け、販促及び接客強化による消費者への訴求力の向上に努めました。その結果、売上高は、532百万円（前年同期比4.0%増）となり、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失2百万円）となりました。

その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業及び通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。健康食品事業は、事業の見直しのため、新規会員募集を本年4月で停止し、通販基幹業務システムサービス事業は、事業中止に向け既存会員の他社サービス等への移行を進めました。その結果、売上高は8百万円（前年同期比86.0%減）となり、営業損失は22百万円（前年同期は営業損失60百万円）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、13,816百万円となり、前連結会計年度末に比べ740百万円減少いたしました。主な要因は現金及び預金の減少（564百万円）、受取手形及び売掛金の減少（483百万円）、商品及び製品の増加（182百万円）、流動資産におけるその他の増加（153百万円）などの要因によるものです。

負債は6,063百万円となり、前連結会計年度末に比べ445百万円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少（575百万円）、賞与引当金の減少（187百万円）、流動負債におけるその他の増加（366百万円）などの要因によるものです。

純資産は7,753百万円となり、前連結会計年度末に比べ295百万円減少いたしました。主な要因は四半期純利益の計上による増加（111百万円）、配当金の支払いによる減少（414百万円）などによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.8ポイント増加し、56.1%となり、1株当たり純資産は747円45銭となりました。

(3) 事業上及び財政上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、11,132千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数に著しい増減はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,400,000
計	30,400,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,373,840	10,373,840	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	10,373,840	10,373,840	-	-

(注) 当社株式は、平成26年4月3日をもって、東京証券取引所市場第二部より同市場第一部銘柄に指定されております。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	-	10,373,840	-	1,217,800	-	550,269

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	400	-	-
完全議決権株式（その他）（注）	普通株式 10,372,200	103,722	-
単元未満株式	普通株式 1,240	-	-
発行済株式総数	10,373,840	-	-
総株主の議決権	-	103,722	-

（注） 「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が6,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数60個が含まれております。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
寿スピリッツ株式会社	鳥取県米子市旗ヶ崎 2028番地	400	-	400	0.00
計	-	400	-	400	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,690,554	2,126,196
受取手形及び売掛金	2,489,507	2,006,064
商品及び製品	563,946	746,934
仕掛品	40,319	29,682
原材料及び貯蔵品	347,481	338,283
その他	474,954	628,923
貸倒引当金	26,348	27,535
流動資産合計	6,580,413	5,848,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,183,184	3,154,368
機械装置及び運搬具(純額)	735,404	742,475
工具、器具及び備品(純額)	246,448	246,469
土地	2,500,667	2,500,667
リース資産(純額)	10,754	11,914
建設仮勘定	7,531	-
有形固定資産合計	6,683,988	6,655,893
無形固定資産	105,678	99,775
投資その他の資産		
その他	1,207,509	1,231,510
貸倒引当金	19,995	18,978
投資その他の資産合計	1,187,514	1,212,532
固定資産合計	7,977,180	7,968,200
資産合計	14,557,593	13,816,747
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	790,630	720,245
短期借入金	1,650,000	1,750,000
1年内返済予定の長期借入金	355,628	336,928
未払法人税等	677,175	101,963
賞与引当金	412,990	225,119
その他	965,975	1,332,342
流動負債合計	4,852,398	4,466,597
固定負債		
長期借入金	575,185	494,078
退職給付に係る負債	846,071	866,046
その他	234,689	236,499
固定負債合計	1,655,945	1,596,623
負債合計	6,508,343	6,063,220

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	5,489,008	5,185,332
自己株式	421	543
株主資本合計	8,029,548	7,725,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,702	27,777
その他の包括利益累計額合計	19,702	27,777
純資産合計	8,049,250	7,753,527
負債純資産合計	14,557,593	13,816,747

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,185,146	5,000,635
売上原価	2,480,306	2,416,452
売上総利益	2,704,840	2,584,183
販売費及び一般管理費	2,441,715	2,382,542
営業利益	263,125	201,641
営業外収益		
受取利息	38	38
受取配当金	1,840	1,614
受取地家賃	4,029	4,332
その他	7,771	8,132
営業外収益合計	13,678	14,116
営業外費用		
支払利息	8,001	5,709
その他	2,386	4,054
営業外費用合計	10,387	9,763
経常利益	266,416	205,994
特別損失		
固定資産売却損	76	-
固定資産除却損	1,097	1,256
特別損失合計	1,173	1,256
税金等調整前四半期純利益	265,243	204,738
法人税等	131,484	93,477
少数株主損益調整前四半期純利益	133,759	111,261
四半期純利益	133,759	111,261

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	133,759	111,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,476	8,075
その他の包括利益合計	5,476	8,075
四半期包括利益	128,283	119,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,283	119,336

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
減価償却費	138,504千円	148,836千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	311,204	30.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	414,937	40.00	平成26年3月31日	平成26年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シユクレイ	計
売上高							
外部顧客への売上高	1,644,909	1,238,165	1,034,755	624,760	71,948	512,057	5,126,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	187,676	609,025	-	73,217	179,622	-	1,049,540
計	1,832,585	1,847,190	1,034,755	697,977	251,570	512,057	6,176,134
セグメント利益 (は損失)	125,726	153,245	38,379	9,307	10,993	2,869	334,781

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	58,552	5,185,146	-	5,185,146
セグメント間の内部 売上高又は振替高	351	1,049,891	1,049,891	-
計	58,903	6,235,037	1,049,891	5,185,146
セグメント利益 (は損失)	60,657	274,124	10,999	263,125

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。

2. セグメント利益(は損失)の調整額 10,999千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額142,228千円、セグメント間取引消去額2,969千円、たな卸資産の調整額 2,397千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 153,799千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシイ シイ	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	計
売上高							
外部顧客への売上高	1,550,525	1,147,268	1,029,139	666,119	67,527	532,414	4,992,992
セグメント間の内部 売上高又は振替高	215,684	603,962	448	68,835	167,167	-	1,056,096
計	1,766,209	1,751,230	1,029,587	734,954	234,694	532,414	6,049,088
セグメント利益 (は損失)	110,879	104,895	29,569	662	7,402	3,789	249,618

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	7,643	5,000,635	-	5,000,635
セグメント間の内部 売上高又は振替高	612	1,056,708	1,056,708	-
計	8,255	6,057,343	1,056,708	5,000,635
セグメント利益 (は損失)	22,301	227,317	25,676	201,641

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。

2. セグメント利益(は損失)の調整額 25,676千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額145,004千円、セグメント間取引消去額2,953千円、たな卸資産の調整額 3,930千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 169,703千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より「ジャパルシー」について量的な重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)
 著しい変動がないため、記載していません。

(有価証券関係)
 著しい変動がないため、記載していません。

(デリバティブ取引関係)
 該当事項はありません。

(企業結合等関係)
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)
 1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12円89銭	10円73銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	133,759	111,261
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	133,759	111,261
普通株式の期中平均株式数(株)	10,373,476	10,373,382

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)
 該当事項はありません。

2【その他】
 該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月 5日

寿スピリッツ株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 憲次 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 英俊 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている寿スピリッツ株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、寿スピリッツ株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。